

小 5 (新小 6)	受験 番号		氏 名	
---------------	----------	--	--------	--

入塾試験サンプル

小 5 (新小 6)

国 語

[ご注意]

1. この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
2. 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度なんいどが高い問題が出題される場合もあります。
3. 実際の入塾試験も、問題冊子きつしと解答用紙は別々に分かれていますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

この問題は誉田進学塾が作成したものであり、著作権は誉田進学塾グループに帰属します。ご利用は入塾を希望するご家庭の学習目的に限り、権利者の許諾を得ずに複製、販売、またはウェブサイトへの掲載等を行うことを禁止します。

1 次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 新しい環境に慣れる。
- (2) 新入社員を採る。
- (3) 節句を祝う。
- (4) 昨日は大漁だった。
- (5) 値段をクラべる。
- (6) 火災をフセぐ。
- (7) ツウジョウどおり行く。
- (8) ユニウ品を売る。

2 次の(1)～(4)の組の中で、——線部の読み方が他の三つと異なっているものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|---|----|---|----|---|------|
| (1) | 〔ア〕 | 古木 | イ | 神木 | ウ | 木目 | エ | 〔木刀〕 |
| (2) | 〔ア〕 | 文明 | イ | 未明 | ウ | 明記 | エ | 〔明朝〕 |
| (3) | 〔ア〕 | 分銅 | イ | 分配 | ウ | 成分 | エ | 〔時分〕 |
| (4) | 〔ア〕 | 平易 | イ | 平等 | ウ | 和平 | エ | 〔公平〕 |

3 次のそれぞれの文章は、カタカナで書くことばがひらがなで書かれています。(1)・(2)の文章中からそのことばをすべてぬき出し、それぞれカタカナに直して書きなさい。

(1) わたしは、小学一年生るときからぴあのを習っています。今、れっすんでは、もーつあるとの「そなた」をひいています。とてもむずかしいです。この間、ばいおりんをひいてみましたが、きいきいといやな音がでるだけでした。

(2) 冬休み、ぼくは、家族で北海道へ行った。すきーのつあー客は、みんな大きなぼつぐをかかえていた。飛行機をおりたとたん、雪まじりの風がびゅーびゅーとふいていたので、ぼくはあわてて、手に持っていただうんじゃけつとを着た。小樽^{おたる}という町では、おるごーるやがらす細工を見て歩いた。混雑した店の中で、がちんとすごい音がした。だれかが品物を落としてわってしまったらしい。

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

患者^{かんじや}さんは、

「こんなに体調がわるいのは、なにか重大な病気がひそんでいるからではないだろうか」

と不安に思いながら、病院へやってきました。

「病気のことをよく知っている医師ならば、きっとこの痛みをつらさもわかってくれるだろう」

と、患者さんは信じてやってくるのです。

けれども、そうした患者さん一人一人がかかえるつらさや不安については、医学生が学ぶ大学の教科書には細かく書いてありません。①教科書からは学びようがないのです。では、どこで、どうやって学べばよいのでしょうか。

仮に教科書にヒントになりそうな説明が書かれてあったとしても、同じ病気の患者さんがすべて同じ痛み^{いた}を感じ、同じ不安を持つわけではありませんね。一人ひとりで病気の感じ方というものはちがいます。

A、きみが虫歯の痛みで泣くほどの思いをしたり、からだ中がかゆくて夜どおしねむれなかったりしても、そのつらさをほかの人がきみとそっくり同じに感じることはできないでし

よう？　ほかの人が感じている痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解するということは、だれにもできないのです。

ただ、わたしはさいわいにして、病気のために八か月間もねたきりで苦しんだ体験があります。本当なら災難^{さいなん}といたいところですが、自分が大病をすることにより病気をもった人のつらさを体験できた、ということは、まさに「さいわい」と呼べましょう。そのおかげで、わたしは患者さんの心を察することができます。

患者さんがどんな痛みでくるしんでいるのか、B、病気のためにどれほど気持ち^{きもち}がふさいでしまっているのかを、わたしは自分の病気の体験を手がかりにして想像することができません。

「本当につらいだろうなあ」

と、患者さんの身になって感じて、何とか手を貸したいと心から思うことができます。

(中 略)

もしも、わたしが結核^{けっかく}をわずらうことなく、順調にエリートコースを進んで、念願の医学部教授にすんなりなっていたら、ひよっとすると、わたしは学歴と名声を(②)にかけた高慢^{こうまん}

ちきな医師になっていたかもしれません。

「痛いくらいなんだ。がまんしなさい！」

と、患者さんをしかりつけたり、

「きみはたいへんに重い病気で、すぐに手術をしないとイケません。とにかく急ぎなさい」

などと、患者さんや家族の希望や不安はおかまいなしに、深刻な話をすげすけと、しかも、何の感情もいれかずに口にしてしまったりする医師になっていたとも考えられます。

仮にそこまで③ひどい医師にならなかつたにしても、患者さんの心を察することができる医師になるまでに、わたしはもつと長い時間を費やさなければならなかつたことでしょう。C、わたしはこれから医師になろうとする医学生たちには、

「きみたち、死なないていどに④」
などと冗談じょうだんをいつているくらいなのです。

人生において最悪の体験だと思っていたものが、じつはわたしが人の心を察することのできる医師になるために必要なレッスンであったのだと、今は心から感謝しています。

人生というのは、こんな思いがけないかたちで、その人にとつてのだいじなレッスンを用意しているのです。きつときみの毎日のなかにも、将来に生かせるレッスンがいくつもかくされ

ていて、それをきみは毎日せつせと体験中というわけでしょうね。

今日きみが失敗して、みんなに笑われてなみだをこぼした体験は、いつか友だちが失敗したときに、その気持ちをだれよりもわかつてあげられるためのレッスンなのかもしれません。今日きみがほめられたときに味わつた、晴れやかな、ほこらしい気分は、きみがもつと大きなことに勇気をもってチャレンジするための準備運動みたいなものかもしれません。

どんな瞬間しゅんかんのなかにも、きみがなにかを学べるチャンスがかくされているということです。D、自分がいつ、なにを学んだのか、それに気づけるかどうかはきみしだい、ということをお忘れなくくださいよ。

ひのはらしげあき
(日野原重明「十歳のきみへ——九十五歳のわたしから」(富山房インターナショナル)より)

問一 A・B・C・D にあてはまる言葉として

最もよいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア だから イ ただし

ウ そして エ たとえば

問二 ―― ① 「教科書からは学びようがないのです」とありますが、それはなぜですか。「患者のことはできないから。」という形にあてはまるように、文章中から二十字以内(句読点も字数に数えます)でさがし、最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

問三 (②) には体の一部を表す言葉があてはまりません。あてはまる言葉を漢字一字で答えなさい。

問四 ―― ③ 「ひどい医師」とありますが、

(1) このような医師とは、筆者は具体的にどのような医師だと考えていますか。ふさわしくないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ずうずうしくて、遠慮^{えんりょ}することを知らない医師。

イ 人の気持ちを考えられない、自分勝手な医師。

ウ 病気の進行具合について、正確に理解できない医師。

エ 高圧的^{こうあつてき}で人を見くだし、患者の心を見ようとしなない医師。

(2) 筆者の考えるよい医師とはどのような医師ですか。文章中から十五字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問五 ④ にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 勉強しなさい

イ 病気をしなさい

ウ がまんしなさい

エ 人の心を考えなさい

問六 本文中の内容として合っているものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分が大病を患^{わず}ったことで、患者の気持ちが手に取るように分かるようになった。

イ 人生において最悪な経験をすることが、医師になる人には必要だ。

ウ 順調にエリートコースを進み、医学部教授になると、高慢^{こうまん}な医師になってしまう。

エ 人それぞれ感じているつらさはちがいが、それを同じように感じて理解することはできない。

問七

この文章全体を通して、筆者が最も伝えたいこととしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 痛みや不安といった人が感じていることを、同じように自分も感じて理解しようと努力すべきだ。

イ どんなことも何かを学ぶことができるチャンスであり、なにを学んだのか気づけるように心がけるべきだ。

ウ 日常生活の中には、将来に活かせるレッスンはたくさんあり、より多く体験すべきだ。

エ 自分が失敗して悔しく思った体験だけは、他の人の気持ちを理解するために必要だ。

(これで問題は終わりです)

解答

1 (1) な (2) と (3) せつく (4) たいりよう

(5) 比 (6) 防 (7) 通常 (8) 輸入

2 (1) ウ (2) エ (3) ア (4) イ

《解説》

(1) はウのみ「モク」、それ以外は「ボク」

(2) はエのみ「ミョウ」、それ以外は「メイ」

(3) はアのみ「フン」、それ以外は「ラン」

(4) はイのみ「ビョウ」、それ以外は「ヘイ」

3 (1) ピアノ・レッスン・モーツアルト・ソナタ・

バイオリン・キイキイ

(2) スキー・ツアー・バッグ・ビュービュー・

ダウンジャケット・オルゴール・ガラス・ガチャン

4 問一 A E B ウ C ア D イ

《解説》接続語の問題です。接続語は語と語・文と文・段落

と段落をつなぐはたらきのことばなので、必ず前後の語句や文章がヒントになります。Aから順番に解くより、まず全部の問題を確認し、わかりやすいものから答えましょう。

問二 痛みや不安くて理解する

《解説》直前の文に「患者さん一人一人がかかえるつらさや不安(は)：教科書には細かく書いてありません」とあります。いっぽう、後ろの段落には「仮に教科書に書かれてあったとしても：一人ひとりで病気の感じ方というものが「書いてあるかないか」ともありません。つまり、ポイントは「教科書に書いてあるかないか」ではなく、「患者さん一人一人の病気の感じ方をすべて理解することは難しい」という意味合いになることを確認したうえで、問いの指定にある「〜できない」という表現をヒントにさがしてみましょう。すると、さらに後ろの段落に「痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解するということは、だれにもできない」とありますね。字数に注意し、指定の言葉とつながるようぬき出して書きましょう。

問三 鼻

《解説》「鼻にかける」は、自慢する(じまん)という意味の慣用語(かんようご)です。

問四 (1) ウ

《解説》選択問題は、選択肢を見る前(せんたくし)にある程度、答えを考えてから選びましょう。先に選択肢を読むと、選択肢の内

容に惑わされて、正しい答えが選べないことがあります。傍線部の直前に「そこまで」とありますので、「そこ」が指している具体例を、傍線部より前の部分から探しましょう。「ひどい医師」の例に当てはまら「ない」ものが正解です。

(2) 人の心を察することのできる医師

《解説》「患者さんの心を察することが出来る医師」が答えますが、字数を超えてしまうため書くことができません。同じ意味を、別の表現であらわしている言葉を見つけたことがポイントです。あらかじめどんな内容がどこに書いてあるのかを意識して読むと良いですが、さがす際はまず近くからが基本です。少しずつ範囲を広げて見ていきましょう。

問五 イ

《解説》筆者は病気をした体験のおかげで、患者さんのつらさや痛みを想像できる医師になれたと考えています。ですから、これから医師になろうとする学生たちにも同じような経験をしてほしいと思って「病気になってつらい経験をしたらどうだい？」と、冗談半分で言っています。

問六 エ

《解説》当てはまりそうな答えがあったとしても、しっかりと全ての選択肢を読み返しましょう。なんとなくよくさそうな解答であっても、一部分が本文の内容とちがうことがあります。本文から読み取れない内容の選択肢を選んではいけません。迷った時は、必ずもう一度本文にもどって、読み返すことが大切です。

問七 イ

《解説》設問文には解答のヒントがあります。筆者が最も強く述べたいことは、「〜と思う（考える）」「〜すべきだ・大切だ」といった文や、文章の最後のほうでまとめられていることが多いのでおぼえておきましょう。選択肢の中には、本文中に書いてあるものもあり、迷うかもしれません。しかし、今回の問いは「筆者が最も伝えたいこと」です。文章後半の「人生というのは…」で始まる段落以降に着目すると、「人生には思いがけない形でレッスンが用意されている、それは将来に生かせるものであり、毎日体験している。どんな瞬間にも何かを学べるチャンスがかくされているが、ただし、そのことに気づくかどうかは、自分しだいだよ」と述べられており、これが最も伝えたい内容だということが分かります。

